

3月定例会

議案に対する各議員の賛否

会派名略称 公明：市議会公明党(6) フォ：フォーラム小平(6) 政和：政和会(5) 共産：日本共産党小平市議団(4) 生ネ：生活者ネットワーク(4)
( )内は各会派の議員数 緑：緑の党こだいら(1...無会派) ムサ：ムサシ(1...無会派)

Table with columns for district, proposal number, title, result, and individual votes for each party (公明, フォ, 政和, 共産, 生ネ, 緑, ムサ).

全会一致で議決した議案※

Table listing proposals decided unanimously, including '筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群患者の支援を求める意見書' and various budget amendments.

※議長は表決に加わりません。

意見書

3月定例会では1件の意見書を可決し、関係機関へ送付しました。(要旨)

意見書とは、地方公共団体の公共の利益に関する事について議会としての意思を意見としてまとめ、国会または関係行政庁に文書で提出するものです。(地方自治法第99条)

筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群患者の支援を求める意見書

筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群(以下「ME/CFS」という。)は健康に生活していた人が、ある日突然原因不明の激しい倦怠感に襲われ、それ以降、強度の疲労感とともに、微熱や頭痛、筋肉痛、脱力感や、思考力の障害、抑鬱等の精神神経症状などが長期にわたり続くため、健全な社会生活が送れなくなるという疾患です。患者数は人口の0.1%と推定され、その半数は治療を受けても回復が見られず、4分の1近くが通常の社会生活や軽労働が不可能という深刻な実態があります。
こうした中、国立研究開発法人日本医療研究開発機構研究班により、平成28年に臨床診断基準案が示されるなど病因・病態の解明や治療法の開発が行われていますが、いまだ病因が特定されず治療法も確立されていないため、患者は有効な治療を受けられない状況です。
また、診断がついた後でも、病名によりただの疲労との誤解や詐病の扱いを受けるなど、患者の多くは社会からの偏見や理解不足に苦しんでいます。
さらに、指定医師の当該疾病への理解不十分等により障害認定を受けられないことや、診断基準が明確でない等の理由から、難病指定がされていないため、必要な医療費助成、福祉サービスや就労支援を受けられない患者が多いのが現状です。
加えて、若年者では学校生活を送ることが困難となり、教育を受けることが制限されてしまふ場合もあることから、教職員への病態・症状の周知、学習環境の整備など学校における適切な配慮が必要です。
よって、本市議会は、国会及び関係行政庁に対し、ME/CFS患者の支援のため、以下の事項について取り組むよう強く要望いたします。
1 ME/CFSの病因・病態を解明し、診断基準及び治療法の確立のための研究を一層推進すること。
2 ME/CFSの実態を医療・福祉・教育関係者や国民に周知するとともに、全国どこでも患者が診療を受けられる環境を整えること。
3 日常生活や社会生活上制限があり、支援の必要が認められる患者の実態に即した福祉サービスや就労支援制度の整備を検討すること。
衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣あて

議会日誌

1月17日~4月17日

本会議、委員会、諸会議など

Calendar of council meetings from January to April, listing dates and topics.

議場見学

《小学3年生》
○1月25日 十五小66人
○2月1日 四小77人

あとがき

3月定例会では、各会派から代表質問などが行われました。今後も、わかりやすい紙面づくりに広聴広報特別委員一同努めてまいります。
お気づきの点がございましたら議会事務局にお寄せください。
〒187-18701 小平市小川町二丁目187-1 1333番地

FAX 042(346)9567
042(346)9566